

## 2015年 臨床検査全国意識調査 集計結果報告 ～認知度・関心度 50%台、早期発見の検査法に期待～

一般社団法人日本臨床検査薬協会（所在地：東京中央区、会長：寺本哲也）は、臨床検査に対する国民の認知状況を知るため、10月に20～60歳代の全国の男女500人を対象に、初めて「臨床検査に関する全国意識調査」（調査方法：インターネット意識調査）を実施いたしました。

集計の結果、全対象者では臨床検査を「よく知っている」「大体知っている」「なんとなく知っている」を含めて「認知している人」の割合は50.8%でした。また、「とても関心がある」「多少関心がある」の割合は54.2%でした。

臨床検査への期待では、「早期発見できる検査」「痛みを伴わない検査」「時間のかからない検査」の開発への期待が上位を占めました。

日本臨床検査薬協会では、これらの調査結果を参考に国民の皆様に「臨床検査の意義や価値」などの情報を提供していく活動を行ってまいります。

### 【調査結果】

回答数：全国47都道府県500人（男性250人、女性250人）

実施時期：2015年10月

対象年齢：20歳代～60歳代（各100人）

調査方法：インターネット意識調査

#### ■臨床検査に関して50.8%の人が認知

臨床検査の認知度調査は、「よく知っている」「大体知っている」「なんとなく知っている」を含めて「認知している人」の割合は50.8%でした。女性より男性の方が認知度は高い結果となりました。また、臨床検査の印象としては「病気の診断と治療に不可欠である・役立っている」が約半数の割合でした。

関心度調査は、「とても関心がある」「多少関心がある」の割合が54.2%でした。40代以上は50%以上が関心を持っているのに対し、30代、20代は50%未満にとどまっています。関心のある臨床検査は「病気の早期発見」「健康状態の把握」「がん検診」の順となりました。一方、「病気のなりやすさ判定」「がんリスク」という将来の病気に関しては、関心が低いことがうかがえました。

#### ■臨床検査の内容や結果、情報は特に入手せず

臨床検査の結果や内容は、医師から説明を受けた人は39.4%で、質問した人も35.9%にとどまっています。また、医療関係者以外からの情報入手に関しても、52.4%の人が特に入手していません。検査の目的、方法、種類、検査結果の評価方法など入手したい情報が、十分に入手できていないと思われる。

#### ■「病気の早期発見」や「痛くない、時間のかからない検査方法」に期待

臨床検査薬や業界に対する期待は、「病気の早期発見ができる検査法の開発」で年齢が上がるほど高くなっています。また、「痛みを伴わない検査法の開発」や「時間のかからない検査法の開発」も期待されています。

本リリースの掲載・取材に関するお問い合わせ先

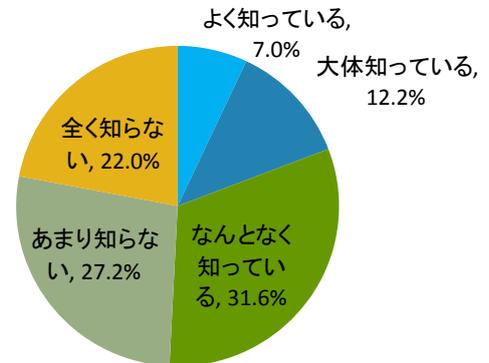
一般社団法人 日本臨床検査薬協会

TEL：03(5809)1123 FAX：03(5820)6120 <http://www.jacr.or.jp/>

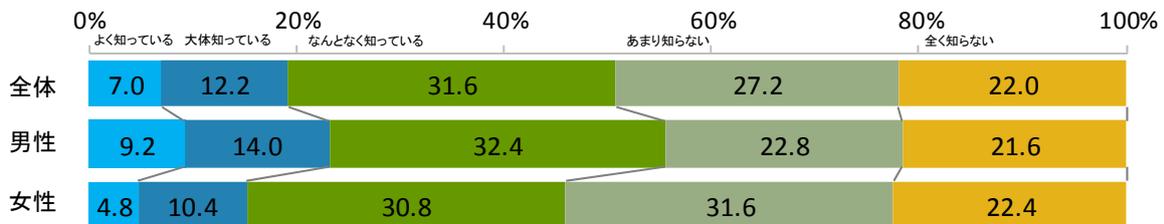
## 2015年 臨床検査全国意識調査 集計結果報告

回答数：全国47都道府県500人(男性250人、女性250人)、実施時期：2015年10月、  
対象年齢：20歳代～60歳代(各100人)、調査方法：インターネット意識調査

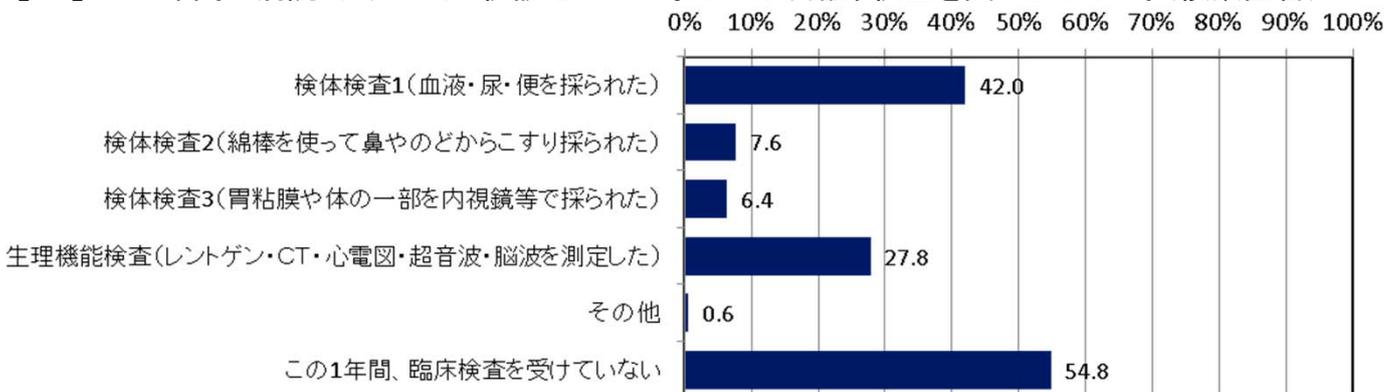
【Q1】臨床検査には、身体から採取した血液・尿・便・細胞・髄液などを検査する「検体検査」とレントゲン・心電図・超音波・脳波などで身体を検査する「生理機能検査」があります。検体検査の中で、病気の診断を目的とした臨床検査に用いる薬品を「体外診断用医薬品」といい、製品ごとに厚生労働省等に申請し、品質、有効性及び安全性等の確認を受けています。  
あなたは、臨床検査に関して、上記の説明のことをご存じですか。



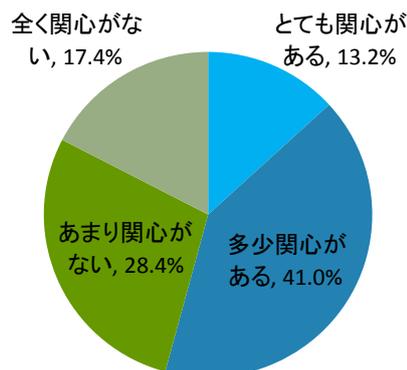
### 【臨床検査の認知度に関する男女比】



### 【Q2】この1年間に病院・クリニック・検診センター等でどんな臨床検査を受けましたか。(複数回答)



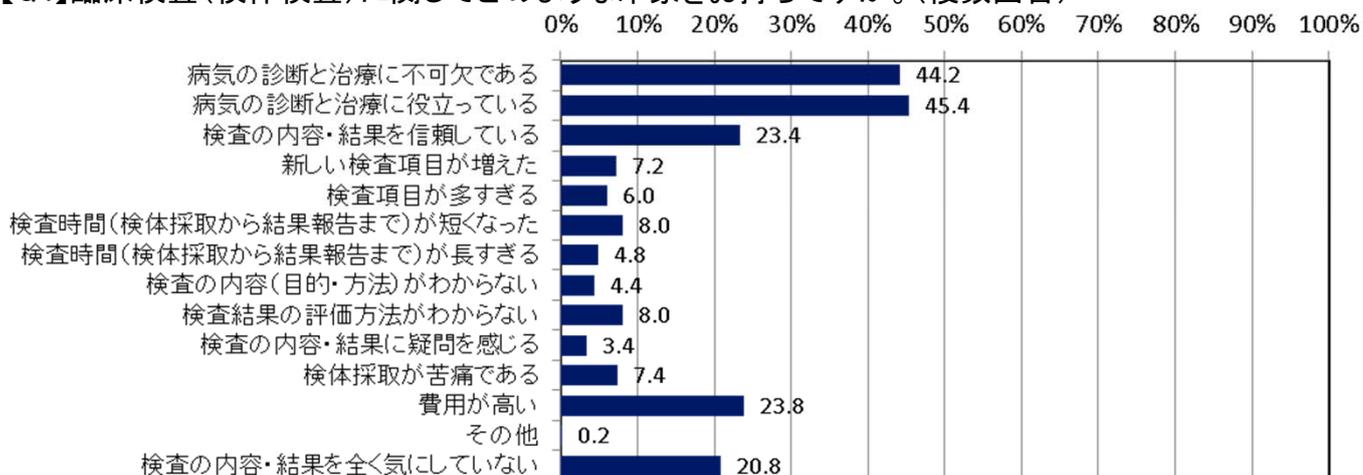
### 【Q3】臨床検査の検査方法や臨床検査薬に関して、どの程度関心がありますか。



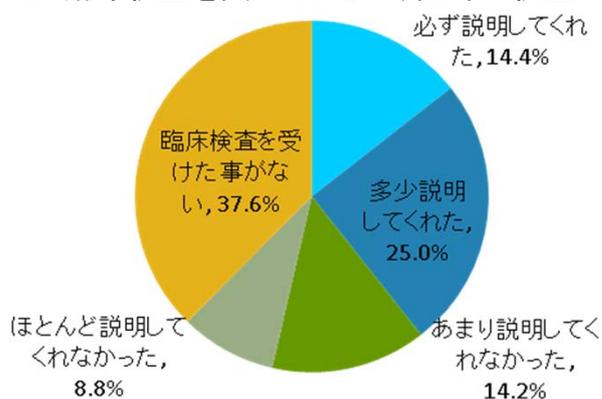
### 【臨床検査の方法や検査薬に関する年齢別関心度】



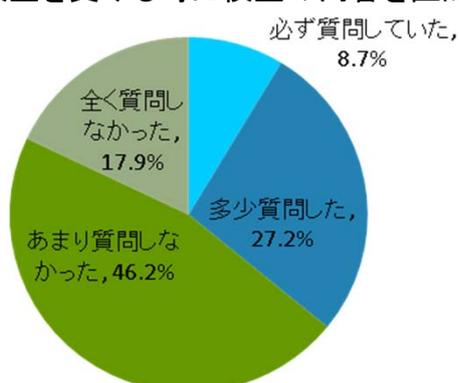
### 【Q4】臨床検査（検体検査）に関してどのような印象をお持ちですか。（複数回答）



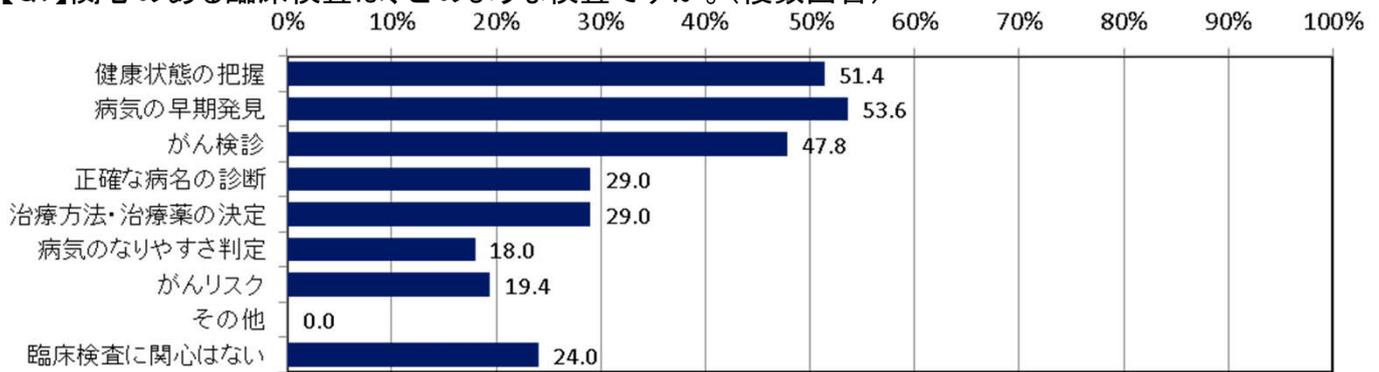
### 【Q5】これまでに臨床検査を受けたときに、医師は検査の内容および結果について説明してくれましたか。



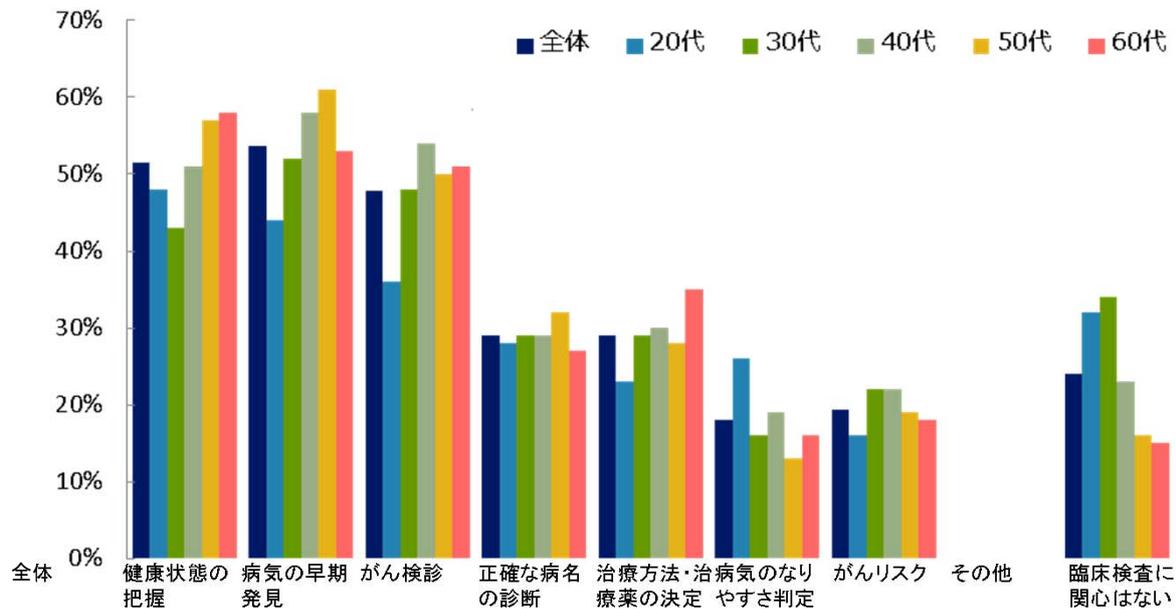
### 【Q6】これまで臨床検査を受ける時に検査の内容を医師などの医療関係者に質問していましたか。



【Q7】関心のある臨床検査は、どのような検査ですか。(複数回答)

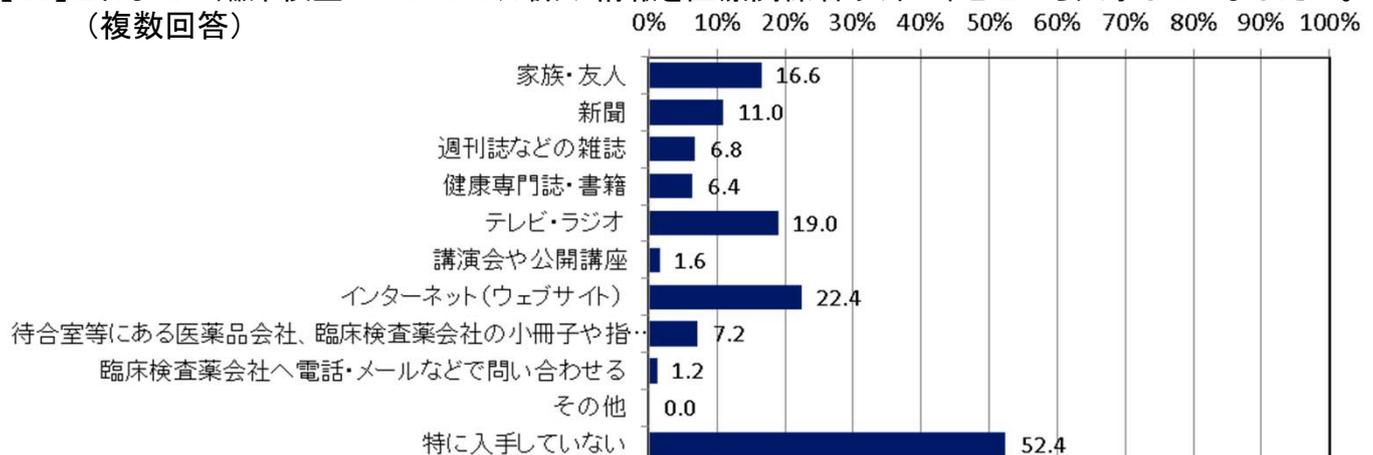


【臨床検査内容に対する年齢比率】

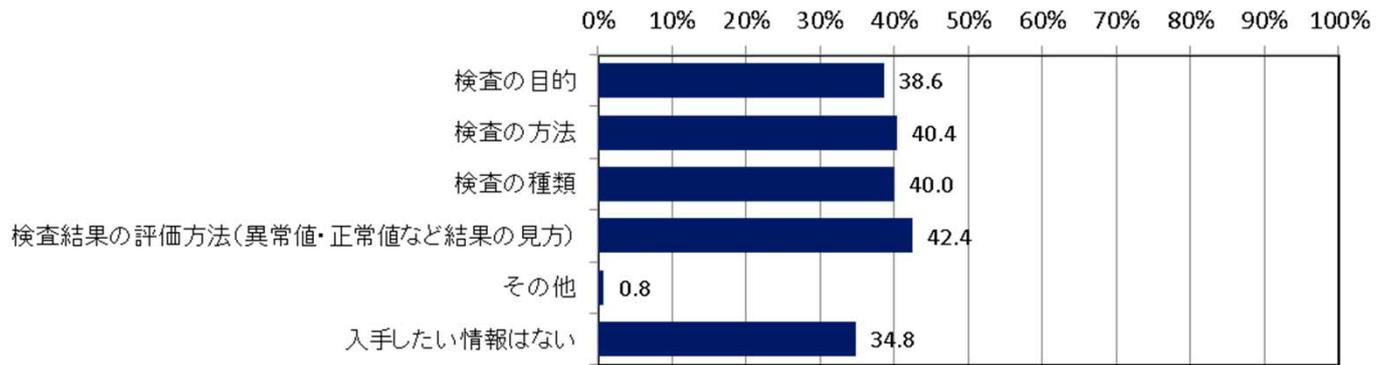


検査内容	全体	20代	30代	40代	50代	60代
健康状態の把握	51.4	48.0	43.0	51.0	57.0	58.0
病気の早期発見	53.6	44.0	52.0	58.0	61.0	53.0
がん検診	47.8	36.0	48.0	54.0	50.0	51.0
正確な病名の診断	29.0	28.0	29.0	29.0	32.0	27.0
治療方法・治療薬の決定	29.0	23.0	29.0	30.0	28.0	35.0
病気のなりやすさ判定	18.0	26.0	16.0	19.0	13.0	16.0
がんリスク	19.4	16.0	22.0	22.0	19.0	18.0
その他	0.0	-	-	-	-	-
臨床検査に関心はない	24.0	32.0	34.0	23.0	16.0	15.0

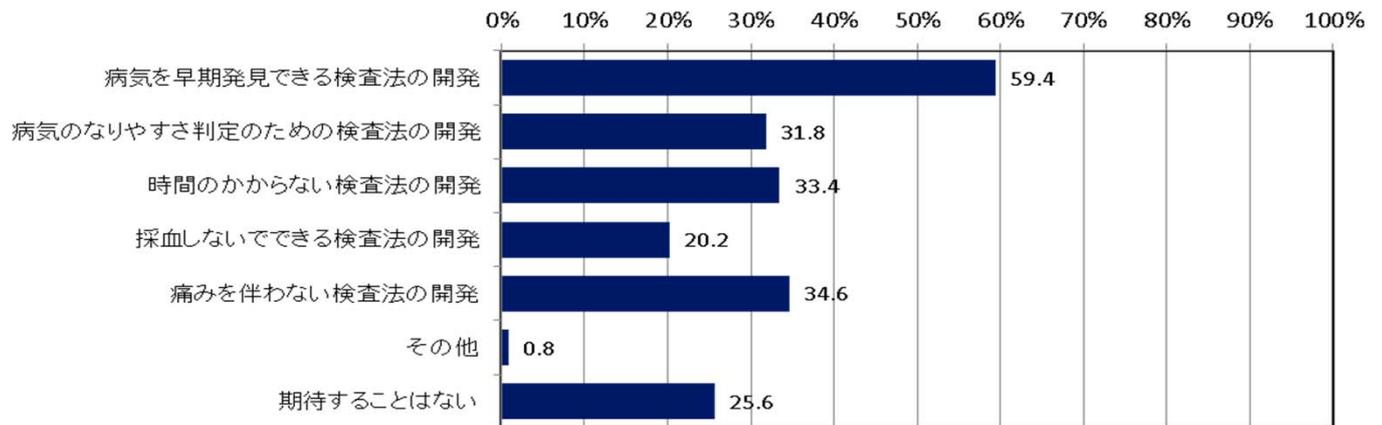
【Q8】これまでに臨床検査についての知識や情報を医療関係者以外に、どこから入手していましたか。(複数回答)



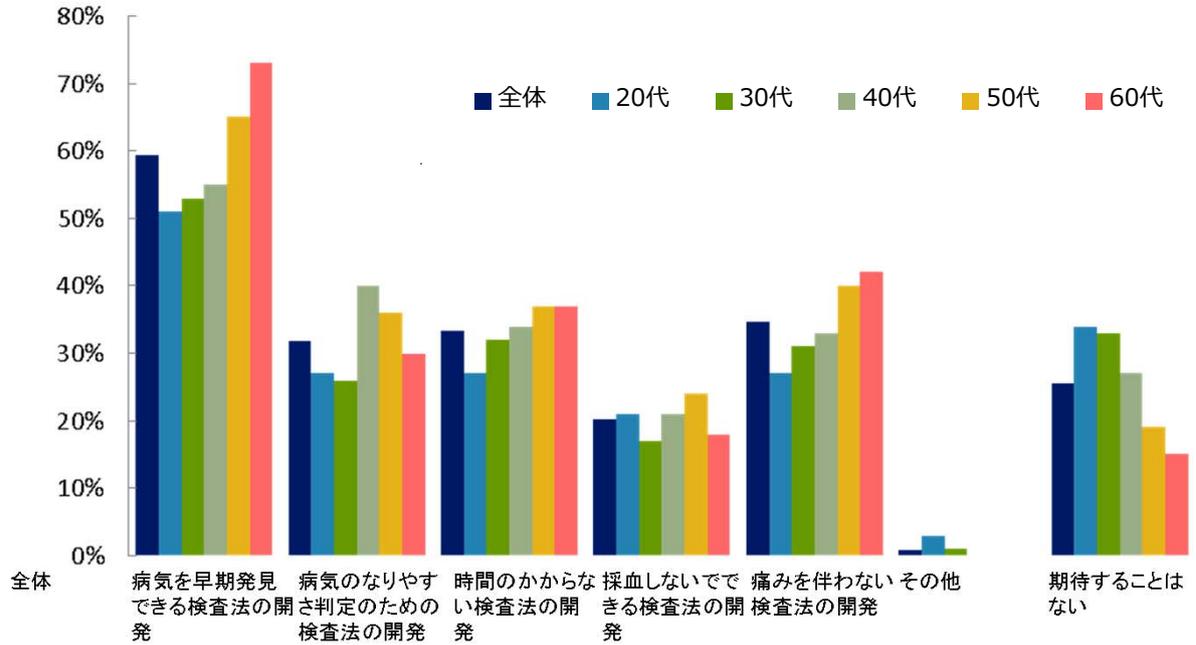
【Q9】臨床検査についてどのような知識や情報を入手したいですか。(複数回答)



【Q10】日本では、臨床検査薬を製造・販売している会社が約120社あり、正しい検査結果が得られるよう品質、有効性および安全性の確保等に努め、また、新しい検査法・検査薬の開発に取り組んでおります。臨床検査薬業界や臨床検査薬会社にどのようなことを期待しますか。(複数回答)



【臨床検査薬業界や臨床検査薬会社に対する年齢別期待値】



期待する検査法の開発	全体	20代	30代	40代	50代	60代
病気を早期発見できる検査法の開発	59.4	51.0	53.0	55.0	65.0	73.0
病気のなりやすさ判定のための検査法の開発	31.8	27.0	26.0	40.0	36.0	30.0
時間のかからない検査法の開発	33.4	27.0	32.0	34.0	37.0	37.0
採血しないで済む検査法の開発	20.2	21.0	17.0	21.0	24.0	18.0
痛みを伴わない検査法の開発	34.6	27.0	31.0	33.0	40.0	42.0
その他	0.8	3.0	1.0	-	-	-
期待することはない	25.6	34.0	33.0	27.0	19.0	15.0